

農の雇用事業における支援終了1年後の定着率

都道府県		令和2年度定着率
1	北海道	62.3%
2	青森県	65.6%
3	岩手県	83.9%
4	宮城県	70.2%
5	秋田県	69.8%
6	山形県	72.1%
7	福島県	70.0%
8	茨城県	63.5%
9	栃木県	80.0%
10	群馬県	73.3%
11	埼玉県	71.2%
12	千葉県	68.5%
13	東京都	71.4%
14	神奈川県	70.6%
15	山梨県	56.3%
16	岐阜県	66.7%
17	静岡県	82.3%
18	愛知県	83.6%
19	三重県	63.6%
20	新潟県	71.7%
21	富山県	72.7%
22	石川県	68.6%
23	福井県	53.3%
24	長野県	72.1%
25	滋賀県	81.4%
26	京都府	65.1%
27	大阪府	78.6%
28	兵庫県	75.4%
29	奈良県	60.9%
30	和歌山県	66.7%
31	鳥取県	74.4%
32	島根県	62.5%
33	岡山県	86.5%
34	広島県	71.9%
35	山口県	72.2%
36	徳島県	69.0%
37	香川県	67.6%
38	愛媛県	71.1%
39	高知県	76.7%
40	福岡県	75.6%
41	佐賀県	70.0%
42	長崎県	54.2%
43	熊本県	84.7%
44	大分県	61.9%
45	宮崎県	86.0%
46	鹿児島県	76.3%
47	沖縄県	38.9%
全国		71.2%

※令和2年度定着率は、平成29年度新規採択者（令和元年度交付終了者）のうち令和2年度末までに就農継続している者（研修中又は研修中断中の者を含む）の割合